

味の素グループにとっての

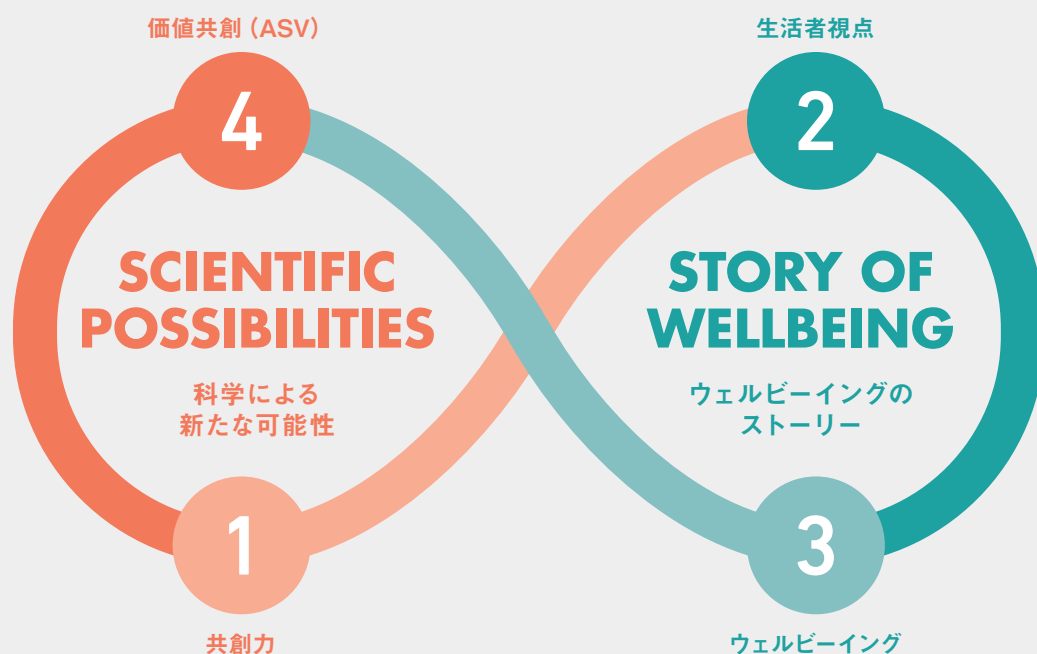
価値創造の
フレームワーク

共創力を磨き、生活者視点をもって、
Well-beingを実現し事業活動を通じて
共創された価値を還元していく

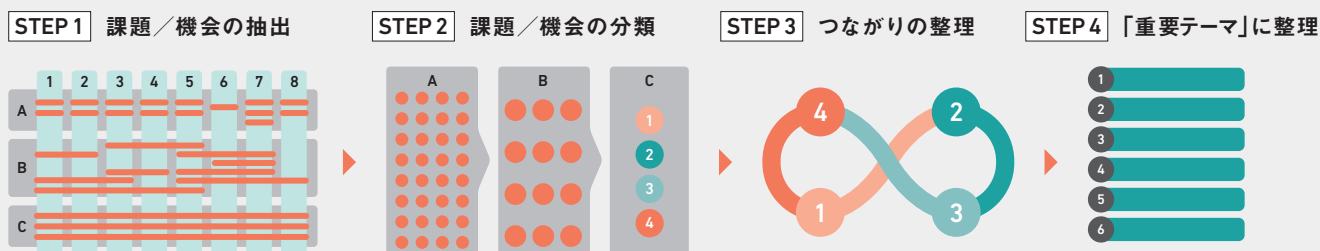
味の素グループにとっての重要な事項（マテリアリティ）は、味の素グループが長期にわたり持続的に社会価値と経済価値を共創し続けるための重要な事項です。重要な事項（マテリアリティ）は、経営や従業員の思いや考え、社外のステークホルダーからの様々な期待等が反映されるプロセスで策定しており、事業戦略に密接に関わっています。また、志（パーパス）、そして現場での取り組みとも深くつながっています。



味の素グループに
とっての重要な事項
（マテリアリティ）



策定のプロセス



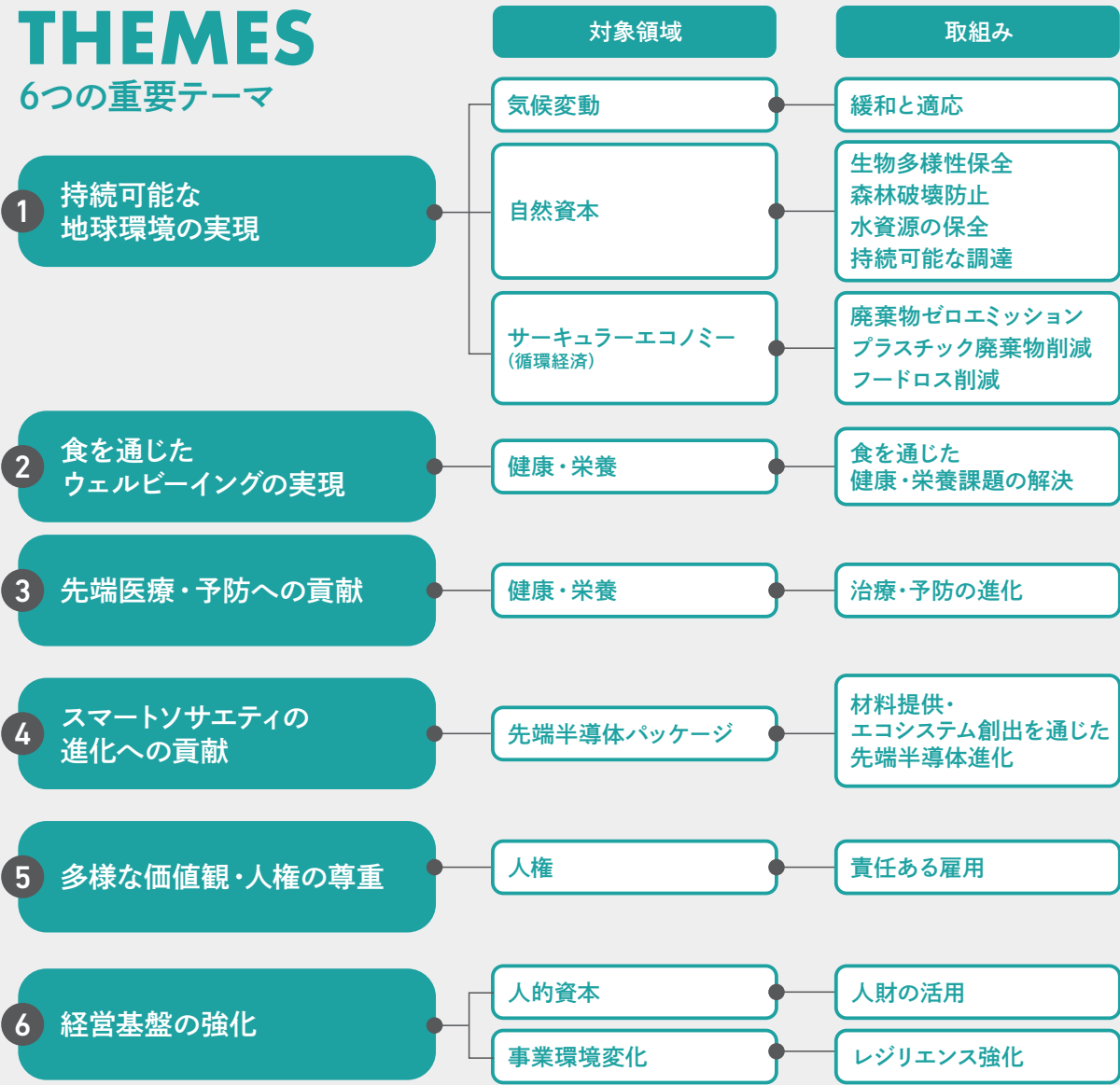
多様な関係者の皆さまとも対話を重ね、社外有識者を中心としたサステナビリティ 諮問会議からの答申を基に設定した価値創造のフレームワーク（考え方）に基づいて、味の素グループがマ

ルチステークホルダーから期待されていること、社会に対して提供していく価値の視点から、現在の味の素グループが取り組む「重要テーマ」を6項目に整理しています。

重要な事項 (マテリアリティ)

THEMES

6つの重要テーマ



当社は、現在の味の素グループが取り組む6つの重要テーマに対して、環境負荷などネガティブインパクト（負の影響）の低減だけでなく、強みであるアミノサイエンス®を活かした広く社会へポジティブなインパクト（よい影響）を創出する取組みも含めて目標・KPIを定めています。そして当社グループ全体を対象とする主要な取組みはその取組みと実績の進捗を経営会議で確認しています。

味の素グループにとっての重要な事項（マテリアリティ）に関わるリスクと機会、各重要テーマに対して当社グループとしてどのように取り組むか、そのKPIは、「サステナビリティレポート2025」で開示しています。
https://www.ajinomoto.co.jp/company/jp/sustainability/pdf/2025/SR2025jp_social.pdf#page=20